

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年11月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100641
法人名	株式会社 ケイシン
事業所名	グループホーム かがしま西太陽の家
所在地	鹿児島県鹿児島市西別府町2794-185 (電話) 099-296-1110
自己評価作成日	令和3年10月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年11月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・入居者様が安心してお過ごしいただけますよう、寄り添う介護に努めています。
- ・コロナ禍で、ご家族と触れ合う機会もほとんどないため、生活のご様子写真や健康状態をこまめにご家族へお伝えしています。
- ・看取りをさせていただき、最期までご支援させていただいています。
- ・職員も入居者様も笑顔で過ごせる環境作りをおこなっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は近隣に公園があり、花見をしたり、散歩コースとしている。竹林があり自然豊かで静かな環境である。旬の野菜の差し入れ等、地域住民との交流は積極的である。
- ・コロナ感染禍で利用者が楽しめる支援を工夫し、笑顔や会話を楽しむため回想法を用いた支援をしている。
- ・職員は利用者とのゆっくりコミュニケーションを図り、思いや希望を傾聴し、本人にあった声掛けで対応する等、尊重した関わりの支援をしている。
- ・管理者は家族の相談には素早く対応し、終末期に入ると入居時からの写真でアルバム作成し、退所時に家族にプレゼントしている。
- ・管理者には相談しやすく、職員間は仲が良く、希望に応じた勤務体制で、働きやすい環境作りを心がけている。
- ・事業所として訪問看護ステーションと24時間医療連携体制を取っており、週1回の健康チェックを行い適切な医療が受けられるよう支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を掲示し、ミーティングや勉強会等で確認し、サービスを提供している	理念は玄関やホールの通路の壁に掲示し、重要事項説明書やパンフレットにも掲載している。事業所理念を基に、毎年度事業所目標を決め、年度初めのミーティングで各自の目標を発表し、実践に繋げている。年度末のミーティングで振り返っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、回覧板などで情報の共有を図っている 地域の方々と野菜作りなどを通じ会話や交流を図っている	自治会に加入し、回覧板や総会資料で地域情報を得ている。年3回の清掃活動に参加している。コロナ感染禍で交流は自粛しているが、旬の野菜の差し入れや近隣公園までの散歩時は挨拶等の交流をしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	自治会総会時に事業所説明をおこなったり、地域の方々が気軽にお越しいただけるように、日常的に会話を多く持つようになっている 相談事への支援もおこなっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>入居者様の現状、日々の活動などへの取り組みを資料を用いて報告している。現在施設内での会議はおこなっておらず、資料をお送りしている</p>	<p>2ヶ月に1回、定期的に事業所の取り組み状況の報告書を、自治会長に直接持参し、第三者委員には郵送で行い、意見を聞いている。出された意見はサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>事故報告、相談、連絡は担当課に報告をおこない指示を仰いでいる</p>	<p>市担当者とは直接窓口に出向き書類申請や事故報告を行い、助言を貰っている。福祉担当者とも情報を共有する等、日頃から連携・協力関係を築いている。市の研修会にはリモートで参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を開催し、身体拘束について勉強会をおこなない、職員の意識付けを図っている。施錠やベッド柵等の禁止事項を日々、確認、身体拘束への正しい理解に努めている</p>	<p>身体拘束廃止委員会があり、マニュアルに基づき各ユニット、合同ミーティングで虐待や言葉遣い等、勉強会を行なっている。光センサーを使用し危険防止に努め、家族の同意と経過を記録している。日中の玄関施錠はせず見守り支援し、外出しそうな場合は、ホールで話をしたり散歩支援をしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待事件の勉強会を開催し、理解を深めている。接遇へも十分気を付けるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護、成年後見制度について、利用されている入居者様がおられるので、職員間で勉強会を開催し、さらに理解を深めたい		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時、更新時等にご家族へ説明を行なっている。不明な点、不安な点に対応できるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情、意見箱を設置している。ご家族の面会やお電話などご意見や要望をお聞きしている。ミーティングや申し送り等で職員へ周知し、本社へも報告し運営に反映している。	利用者からは日常の関わりの中で話を聞き、家族からは面会時や電話等で意見を聞いている。毎月、ホームでの様子の写真と生活様子を一筆箋で報告し、家族から感謝されている。利用者からの外泊したい要望には、本社に報告し、方向性の連絡を待って対応している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	申し送りや定期的なミーティングにて意見交換や提案をする場を設けている。月1回の管理者会議時に事業所の要望等を伝えている。	管理者は月1回の各ユニット・合同ユニット会議、ミーティングや日々の関わりの中で、意見や提案を聞いている。年2回、自己評価のアンケート結果に基づき、個人面談を行ったり、個別相談にも応じている。職員の希望に沿った業務体制で、働きやすい環境作りを心掛けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>希望や要望などについて職員は、管理者へ伝えやすい環境である。職員が働きやすい環境、条件になるよう努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修には積極的に参加できるよう呼びかけ、質の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>コロナ禍で活動の範囲は少ない。リモートでの研修を取り入れ、職員間での勉強会につなげ質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居者様の話を十分傾聴し、安心して生活できるよう環境づくりに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族様からの要望にも対応し、面会時や必要に応じて連絡相談を行なっている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居者様、ご家族様からのご意見や生活歴を参考にし、職員間で話し合いをし支援している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>個人の空間を大切にし、職員と入居者様が一緒にできることを行ない、時間を共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時、笑顔で接しご家族との情報共有を行ない、ご家族の思いを受け止め共に支えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時にはゆっくり話ができるようにしている。コロナ禍で距離をとっている。外出は現在は控えているが写真などを通じ、懐かしい場所など、入居者様が安らぎをもっていただけるように支援している。	テラスでの面会・事業所の電話を使つての会話・携帯電話で会話できる支援をしている。録画してある昔の天文館の様子を見てコミュニケーションを図り支援している。家族の協力で墓参りを車から参拝している。理美容室訪問を支援し、買い物は職員が代行している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや談話などの時間で、入居者様同士の交流の場づくりをしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ホームを訪れた際や、相談のお電話にも対応し支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いに沿ったケアが出来るよう十分に傾聴し、職員やご家族様からの情報を合わせて本人らしさが出るよう支援している。	日々の生活の中や入浴時・夜勤帯に思いや意向の把握に努めている。困難な場合は、好物だった物を食べなくなったとか、考え込んでいる等、行動や表情の変化を家族と話し合い、職員と意見交換し本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェイスシートを参考にご家族様等から聞き取りをし深く知るよう努めている。本人から伺ったことを介護記録等に記録して職員間で把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身の状況や健康に留意し、以前と現在の状況との比較により、その方に応じたケアが出来るように介護計画を立て支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人のニーズに沿った介護支援が出来るよう、ご家族様との連携をとっている。また職員、かかりつけ医と話し合い柔軟な支援やサービスに努めている。月1回のユニット会議ではプランの確認をしている。	本人・家族の意見を基に、主治医・訪問看護師・職員で話し合い介護計画を作成している。月1回のユニット会議でプランを確認しながら支援をしている。モニタリングは3ヶ月毎、見直しを6ヶ月毎、状況変化時はその都度見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人経過表などに毎日の記録を残し、本人の体調の変化や思い等にの情報を共有しながら日々の支援につなげ介護計画の見直しに生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご家族様との連携を密にし、入居者様のニーズに沿った介護支援できるように柔軟な支援サービスに努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>自治会へ加入し、地域の取組へ参加している。行事や会合に出席している。入居者様が社会と触れ合っ楽しく豊かに過ごしていただけるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者様及びご家族様の希望があれば、かかりつけ医の定期受診を支援している。体調の変化がある場合は協力医療機関と連携し受診されるよう支援している。</p>	<p>入居前からのかかりつけ医への受診を支援している。24時間訪問看護ステーションとの医療連携体制で週1回の健康チェックで健康管理をしている。定期的に歯科の訪問診療もあり、必要時は眼科、皮膚科の往診もあり、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入居者様の健康状態チェックを訪問看護ステーションと連携している。連絡相談をおこない、指示を受け適切な病院受診につなげている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>情報提供書を取り交わし、早期対応に努めている。各医療機関の相談員と日ごろから連絡を取り、情報交換を行なっている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化、終末期に向けた方針を説明し、早期に入居者様のご家族、医療関係者と話し合いをもち意思を尊重しつつ、適した対応と尊厳をもって介護にあたれるよう取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期に向けた方針があり、入居時に本人・家族に説明して同意書を貰っている。状態変化の時、管理者が同席して主治医から家族に説明し、家族の意向を確認し、方向性を共有している。看取りは家族の協力がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>避難訓練、普通救命講習、勉強会等を取り入れ、職員が柔軟に対応できるよう努めている。消防署の応急手当の指導も受けている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練、普通救命講習、勉強会等を取り入れ、年2回消防署からの指導も受け職員が柔軟に対応できるよう努めている。</p>	<p>年2回、消防署の指導の下、昼夜間想定での避難訓練・消火訓練・救命講習等の総合訓練を実施している。マニュアルがあり、月1回の自主訓練を地震・土砂災害・火災時の避難訓練を行っている。地域住民の協力を依頼している。非常用として水・カップ麺・春雨スープ・フルーツや鯖などの缶詰等の食料を備蓄し、カセットコンロ・ランタン・救急箱等も準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>自尊心を傷つけないよう、丁寧な声かけを心がけている。</p>	<p>年1回、接遇や人権について勉強会をしている。排泄の声掛けは居室で行い、排泄時はドアを閉めて、声かけ支援し、入浴時の着脱時は羞恥心に配慮した対応支援をしている。入室時はノックし、呼称は苗字で呼び、人格を尊重し、丁寧な声かけや対応を心がけている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>入居者様が希望をいいやすい環境づくりをし、思いに沿ったケアをしている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>何がしたいのか話をする時間を作り、要望に沿った介護に近づけるように努めている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>本人の好みを尊重し、おしゃれを楽しめるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理の本を見たり、食の好みの聞いたりし食事を楽しみにしていただけるよう献立を工夫している。	献立は職員が作成し、季節感のある食事になるよう工夫している。食形態はトロミや柔らかめ・刻み食等で提供し、美味しく食べれるよう工夫している。後片付けのお盆拭きやテーブル拭きを一緒にしている。行事食や誕生日は好みの煮物やちらし寿司、午後のおやつにケーキで全員でお祝いする等、食べるのが楽しみとなるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量は常に記録し、栄養バランスのとれた食事を提供し、一人一人の摂取状況に応じた支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアをしていただき、清潔保持に努めている。必要に応じて歯科往診を受けていただいている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	お茶や食事の前後にトイレへのご案内や見守りをしている。その方の排泄パターンに応じた支援を行なっている。	排泄チェック表でそれぞれの排泄パターンを把握し、羞恥心に配慮した対応で、トイレでの排泄支援をしている。排泄用品は綿パンツやリハビリパンツ等、個々の排泄状態で対応している。「トイレに行きたい」と伝えられるようになった事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を多めに摂取していただいている。個々の排便のパターンを把握するように努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の体調や気分に応じて入浴支援を行なっている。	基本的に週3回、午前中の支援であるが、希望に応じてシャワー浴や浴槽での入浴支援をしている。同性介助の支援もある。拒否がある場合は、声掛けを工夫したり、全身清拭や足浴等の支援もある。清拭や更衣のみの利用者もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	時間帯を定めず、本人が休みたい時に休んでいただくようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様、個々に管理し薬の変更や注意点が合った場合は職員間で確認し周知している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクリエーションなど本人が楽しんでいただけるよう環境づくりをしている。散歩やカラオケなど気分転換などの支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ禍で外出が限られているので、外気浴など敷地内での散歩を行なっている。	人が少ない時間帯に近隣の公園を散歩している。テラスに出て外気浴をして話をしたり、お茶したり歌を歌ったりしている。先月、各ユニットで運動会を開催し、ハチマキして体操や玉入れ等、楽しめる支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出が出来ず、使用する頻度がほとんどないが必要時には希望に応じた支援を行なっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族様からのお電話やお手紙を通じ、ご家族とのふれあい支援を行なっている。お電話の希望の方にはやり取りが出来るよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同空間の整理整頓に心がけ、コロナ禍であるので更に消毒を徹底している。壁面飾りを入居者様に手伝っていただきながら工夫している。	玄関に職員の写真等を掲示している。ホールは温・湿度計があり、エアコンを調節し、換気は日中窓を開け、カーテンで採光を調整している。ピアノや収納の整理ダンス・テーブルと椅子等、配置している。壁には写真や利用者の作品、イチョウ等が描かれた職員との合作も掲示している。生活感や季節感を取り入れ、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファなどでゆっくり過ごされたり、居室で独りのんびり休まれたり、思い思いに過ごせることができるよう支援している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	思い出の品や家具、ご家族の写真などを居室に置いて過ごしていただいたり、居心地よく過ごされるよう努めている。	居室は電動ベット・整理ダンス・洗面台・エアコンを設置している。寝具一式・空気清浄機・小型のテーブルと椅子・ハンガーラック等を配置し、掛け軸や作品を掲示し、人形や家族の写真を飾るなど、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	居室入口に名前を表示し、トイレや浴室などを安全で安心して自立した生活を送れるよう工夫している。手すりがあり、安全に過ごしていただけるよう工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない (コロナ禍のため)
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない